



岩沼市の将来

佐藤 淳一



問 岩沼市の人口数(最新)と今後の予測を伺う。

総務部長 令和元年8月末現在の数値で、人口4万3999人、世帯数では1万7871世帯です。前月比で自然減11名、社会減30名です。今後の予測は、最新の推計によれば、2040年の岩沼市の人口は3万9497人です。

問 持続可能なまちづくりの課題について伺う。

総務部長 少子高齢化、人口減少が、労働力と生産力に影響を与え、市の財政にも悪影響を与えます。また、人口構成の変化は、地域コミュニティの持続にも影響を及ぼすものと考えます。

目標設定が堅実過ぎでは

問 持続可能なまちづくりには、人口の安定化(最低でも維持)が必要ではないかと考える。名取市は、人口の維持ではなく拡大を目指し、目標人口を8万5千人(現在約7・8万人)にするという。人口が減少すると経済も縮小し税収が減少し財政に悪影響を与え、市の事

業も縮小していかざるを得なくなることも想定される、大きな課題である。柴田町と大河原町は交通の便が岩沼市よりも劣るにもかかわらず、人口などの将来予測数値が岩沼市よりも良好で、また、周辺自治体の将来予測値や目標値を見ても、岩沼市の人口数の目標は堅実過ぎるように感じるが、どのように受け止め考えるか。

市長 岩沼をどう維持し持続可能なまちにしていけるか、大きな課題ですが、子どもの教育レベルを上げていく、安心して住めるの2点に尽きます。柴田と名取の間にある岩沼はどう生きるべきか。人口が減っても住民サービスが低下しないように、できるだけ財源を確保して、市民にしっかりサービスを展開して、不安を与えない、その上で持ち味を出していきたいです。人口減によって岩沼が疲弊することのないように、これから議論していきたいと思えます。

◎その他の一般質問
・各種選挙の投票率



移転跡地の活用現状と今後

植田美枝子



問 移転跡地の全体の面積のうち活用しているのはどの程度か伺う。

政策企画課長 107・4ヘクタールを買取りました。現在活用しているものおよび利用の見通しが立っているものを含め、85・4ヘクタールを活用しています。

問 跡地の活用の仕方にはどのようなものがあるのか。

政策企画課長 千年希望の丘の公園用地、ソバの耕作地、ライスセンターの農業用地、メガソーラーの用地、ひつじ村、他には産業用地、道路、橋梁など、公共用地として活用しています。

問 計画中のパークゴルフ場の進捗状況について伺う。

復興・都市整備課長 昨年行った基礎調査結果を踏まえて、現在実施計画を進めており、来年度には工事に着手したいと考えています。

問 千年希望の丘の訪問者数の今後の推移をどのように捉えているか。

復興・都市整備課長 民間イベントが開催されると、利用者数を伸ばすことにつながるため、イベン

トを仕掛けて利用者の維持を図りたいと考えています。

風の電話ボックス設置は

問 震災に限らず、病気や事故などで大切な人を亡くした人の心はなかなか前に進むことができない。そういう思いの人が会えない人に思いを伝える場所として、千年希望の丘に漂流ポストや風の電話ボックスのようなものを設置してはどうか。

復興・都市整備課長 設置は考えていません。

問 風の電話ボックスや漂流ポストは、心や魂の復興に役立つものと思うがどうか。

建設部長 ハードの復興はほぼ完了し、ソフト面はまだ未だです。しかし、行政があえてやるべきなのか、できることならば、民間側でやっていただきたいと考えます。

◎その他の一般質問
・子どもの心のケアハウス「あいるーむ」